

(特非) 神戸海さくら

須磨海岸における地域住民および海岸利用者の参加型清掃活動とマナー意識向上による持続的な環境保全活動

活動地域  兵庫県

LOVE BLUE助成

3年目

実績

一年間に行った
ゴミ拾い回数 **56回**

一年間のゴミ拾い延べ
参加者 **989人**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **80%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルスの影響により、年間を通じて開催可否の判断が難しく、日程調整等に苦労した。特に行政と連携する活動では、可否の両パターンを準備したため苦労した。

■工夫した点

ニュースや報道を日々確認しながら関係各所と常に最善策を検討し、参加者の安全対策を最優先したプログラムや規模に変更して開催した。



ビーチクリーン参加者との記念撮影

課題

私たちNPO法人神戸海さくらが地域と行政を繋ぐ連携役となり、ボランティアの手で須磨海岸の海洋環境保護と利用者のマナーアップを維持できる体制を確立する。

目標

須磨海岸にボランティア主体で運営するクリーンステーションを行政の協力のもと設置する。プラスチック問題や海洋環境保護のセミナーを、行政や企業と一体となり開催する。

活動内容と成果

ビーチクリーンは毎月1回の計12回と海水浴場開設期間中にあたる7月・8月の計44回を合わせて、計56回実施し、延べ989人が参加した。クリーンステーションはボランティアと海岸来場者との接触による新型コロナウイルス感染が懸念されたため、神戸市港湾局と協議の結果、設置中止。代わりに「Weekday Morning Beach Clean & Sunset Beach Clean」と称して、毎日ビーチクリーンを実施した。海洋プラスチック問題に対しては、専門家による啓蒙セミナーを3回開催した。



「トライやる・アクション」の活動状況

全助成期間の活動を振り返って

3年間の助成のおかげで活動の幅が大きく広がった。神戸市や須磨区との連携がこれまで以上に深まったことに加えて、神戸市内の公立中学校2校との「トライやる・アクション」実施と、国土交通省海事功労者等表彰において近畿地方整備局長表彰を受賞したことで、団体の信頼度が大きく飛躍したと感じている。メディアでは神戸新聞4回、読売新聞1回のほかサンテレビやJ:COMに取り上げてもらい、活動の広告に大きく役立った。



「海の日」ビーチクリーン環境セミナー

〒652-0061
兵庫県神戸市兵庫区石井町7-1-9
E-mail: info@k-umisakura.com
HP: https://k-umisakura.com/



今後の展望

須磨海岸が、日本で4か所しか認定されていない国際環境認証「ブルーフラッグ」を来年以降も継続していけるよう、行政や地域と連携しながら、当団体は認定に必要な「環境マネジメント」分野において役割を担う。この助成期間で、P&G、サントリーホールディングス、SMBCフィナンシャルグループ、NTTグループ等の企業とビーチクリーンを協働したが、今後さらに規模拡大を目指して、活動に取り組みたい。